

数学（数学B） 学 習 指 導 案

日 時 平成29年 6月13日（火）第1時限

講 座 2年1組 場 所 201教室 指導者 川野 星子

単 元 第1章 平面ベクトル 教科書 高等学校 数学B（数研出版）

指 導 目 標	1 ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	指 導 計 画	第2節 ベクトルと平面図形
	2 ベクトルの基本的な性質について理解し、それらを平面図形の性質などの考察に応用できるようにする。		1 位置ベクトル・・・・・・・・・・ 2時間 2 ベクトルの図形への応用・・・・・・・・ 3時間 (本時はその3時間目)
			3 図形のベクトルによる表示・・・・・・・・ 3時間

本時の主題 2直線の交点の位置ベクトル

前時の課題 内分点の位置ベクトルを復習しておく。

本時の目標	1 $\vec{OP}$ は、 $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$ を用いて、2通りに表して求めることを理解させる。 2 ベクトルの分解の一意性を理解し、活用させる。
-------	--

	学 習 活 動	時間	指導上の留意点	評価規準・方法・資料等
指 導 過 程	導入 内分点の位置ベクトルの公式を確認する。	5	・内分点の位置ベクトルの公式を復習し、利用させる。	
	展 1 応用問題4を解く。 (1) $\vec{OP}$ を $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$ を用いて2通りに表す。 (2) $\vec{a}$ と $\vec{b}$ が一次独立であることを確認する。	25	・内分点の公式を利用させる。 ・ $\vec{OP}$ を $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$ で、ただ1通りに表すためには、 $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$ が一次独立であることが必要であることを確認させる。	【評価規準】 ・内分点の公式が利用できる。〈数学的な技能〉 【評価方法】 ・机間観察により確認
	開 (3) ベクトルの分解の一意性から、sとtの値が求まることを理解する。 2 練習31を解く。	15	・s、tに関する連立方程式を解き、 $\vec{OP}$ を $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$ を用いて表させる。 ・類似問題を解くことで、応用問題4の解法を定着させる。	【評価規準】 ・ベクトルの分解の一意性を理解し、 $\vec{OP}$ を $\vec{a}$ 、 $\vec{b}$ を用いて表すことができる。〈数学的な見方や考え方〉 【評価方法】 ・発表をさせ確認
	整 理 本時のまとめをし、次時の予告をする。	5	・本時の内容を確認させる。	

次時の課題 クリアー数学II+Bの問題55を解いてくる。

備考 文系 生徒数 46名（男子21名、女子25名）